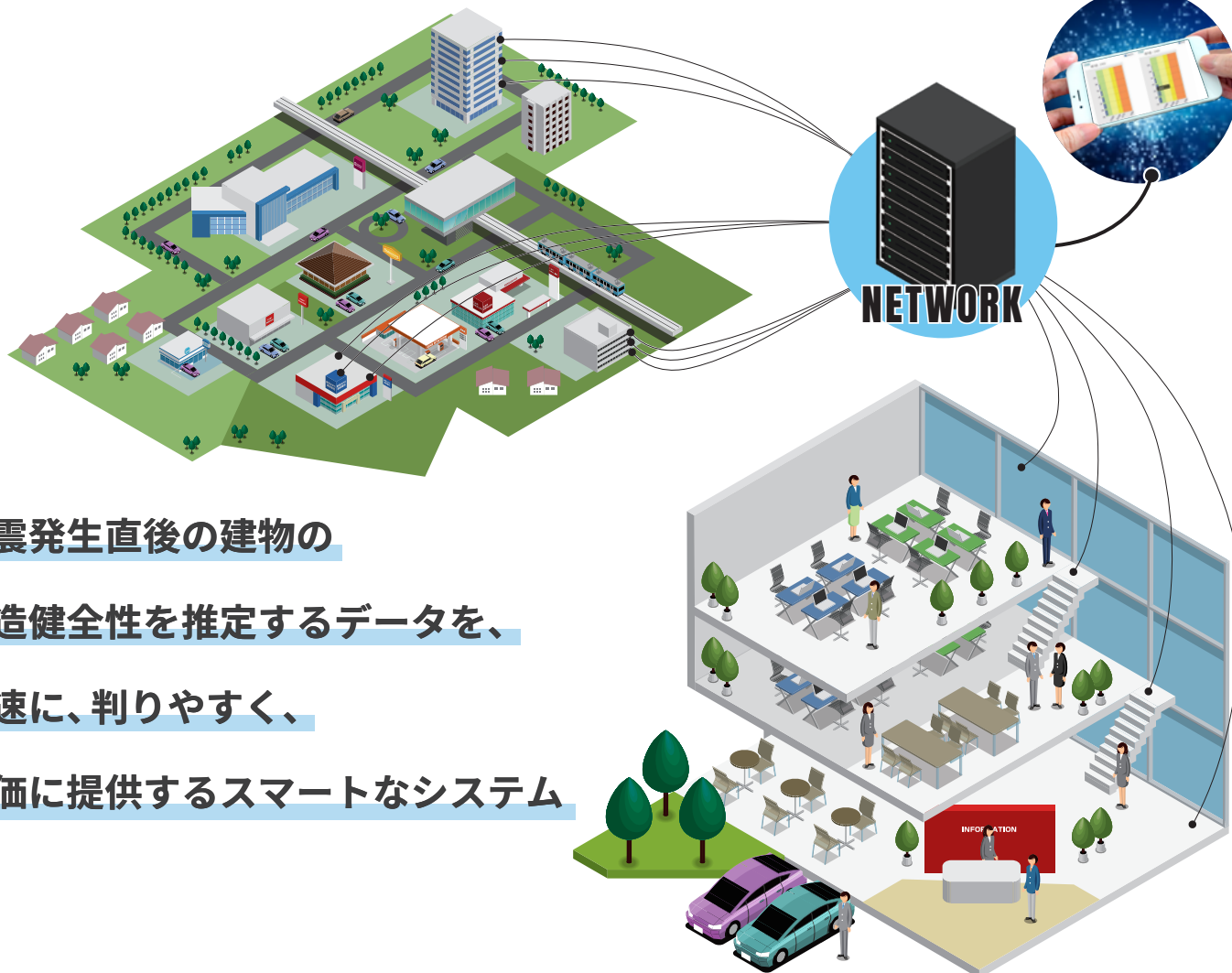


IoT技術を用いた地震被災度モニタリングシステム

KAWAKIN レジリエントシステム

KAWAKIN
Resilient System



地震発生直後の建物の

構造健全性を推定するデータを、

迅速に、判りやすく、

安価に提供するスマートなシステム

1

地震発生後、建物の継続使用の可否を即時に判断

2

建物の揺れ具合を判りやすく表示

3

地域防災管理と建物の被災履歴を長期保存

4

免震建物の免震層の変位も即時に把握可能

概要

▶ 建物の健全性を即時に判断

「建物設計時に設定した目標耐震性能（層間変形角、加速度）」と「本システムの計測データ」を迅速に比較することができます。

即時に建物の損傷状況が把握でき、継続使用の可否判断や余震による二次災害を回避することができます。

▶ 建物の継続使用の可否の判断



大地震発生後、目視調査などを行いますが、判定者の技量により構造健全性についての判定がばらつくことがあります。客観的な損傷度推定データの情報を判定者に提供することができ、建物の構造性能を定量的に評価できます。大地震後の応急危険度調査で、内装材や耐火被覆等で目視困難な柱、梁等の構造部材の被災度を推測することが可能です。また、防災拠点となる病院や庁舎などに採用される免震建物に本システムを設けることにより、免震層の変位を確認できるので、維持管理に必要な免震層の変位を即時に把握できます。

▶ 地震被災履歴を長期間保存可能

本システムのクラウド上に複数建物の地震被災履歴データを一括管理することができるため、地域の防災拠点から、いつでも複数の建物の地震被災履歴を確認することができ、長期間の計測により、建物の経年劣化や被災履歴を把握できます。

システム全体像



本システムは、(株) 地層科学研究所の Geo-Seimo サービスの委託契約により提供しています。

